

ASIS 支援プログラム

2025年1月1日改訂

理念

・楽しむことから始める

楽しむ中での気づきを大事にし、課題を自分で見つけ、学びたいと思う気持ちを作ります。

・自己理解と他者理解

自己理解と他者理解を深め、お互いを価値ある存在として尊重し、それぞれ自分らしくいられるための方法や環境を知れるように進めます。

支援方針

やりたいことを見つけ、楽しめる環境を作り、その中でニーズを引き出します。

問題がおこらないようにするのではなく、おこったときに自分で考え行動できるようにサポートします。

ルールは子どもたちと決めて決めるようにし、大人のルールを押し付けません。

本人支援

以下の5領域を基本に、子どもたちの成長に必要な支援を組み立てています。

【健康・生活】

自分でプログラムを選び、スケジュール管理をするところから始めます。
時間管理、生活リズムなどで課題が出た場合は、自分自身で対策やヘルプの出し方を考えられるように進めます。

【運動・感覚】

運動系に加え、eスポーツ・パソコン操作などさまざまなプログラムにおいて、個々がもつ運動や感覚（体幹・手指操作など）をスキルアップできるよう支援します。
特性上苦手な部分においては、関係機関とも連携をとりながら、進めます。

【認知・行動】

すべてのプログラムをSSTの場ととらえ、過ごす中で起きるできごとをもとに自己理解・他者理解を深めます。
行動障害においては専門的支援を取り入れ、関係機関と連携をとり、対策を立て進めます。

【言語・コミュニケーション】

「誰かと話したい、関係を築きたい」というニーズを引き出すことを大切にします。
それぞれに合ったコミュニケーションの方法を探り、理解を深め、必要であれば個別対応などで練習をしていきます。

【人間関係・社会性】

職員と信頼関係を築き、安心して過ごせる環境をつくります。
自分がやりたいこと、好きなことを通して友達と関わり、その中で自己理解や社会性が育つように進めます。

家族支援

・日々の情報共有

保護者の方に日々の活動の様子を伝え、また、ご家庭の様子を共有いただくことで、子どもとの関わり方を一緒に考えられるように進めます。

・気軽に相談できる環境作り

子育ての悩みや相談にも応じていきます。

・親カフェ、保護者会、研修の開催

保護者同士で話し合いが出来る場を提供し、同じような子育ての悩みに共感したり、研修などで子育てについて学べる機会を作っていきます。

・保護者やきょうだいが参加できるプログラム

保護者やきょうだいも参加できるプログラムを用意し、場所を提供します。

移行支援

各関係機関や学校と密に連携をとり、個々にあった環境設定ができるよう努めます。

余暇の過ごし方につながるプログラムなども取り入れ、ASIS 以外でも充実した時間が過ごせるよう進めます。子どもや保護者のニーズを組み入れ、ライフステージの切り替えを見据えた支援をしていきます。

地域支援・地域連携

学校、医療機関などと情報連携をし、支援方法や環境調整等に関する相談援助等を行います。参加できそうな地域のイベントなどがあれば、参加の機会を作っていきます。

職員の質の向上に資する取組

事業内における研修を定期的実施し、外部研修にも積極的に参加することで、職員の質の向上に努めます。

主な行事・イベント

季節イベントや、外出イベント、eスポーツやレクリエーションの大会などを定期的開催しています。子どもたちが企画し、運営するイベントもどんどん取り入れていきます。

【営業時間】 10:00～19:00

【送迎】 どうしても必要な場合、送迎可能範囲の方を対象に実施